



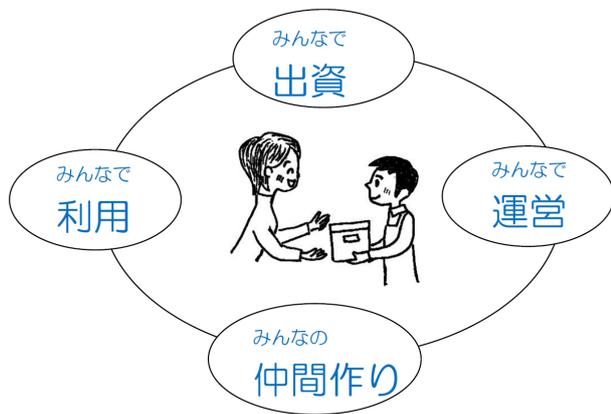
【ものづくり・人づくり・地域づくり】2017年度活動テーマ ～地元のやさいを食べよう～
秋の生協強化月間（9-11月）が始まります！！

2017年度秋の強化月間方針

『仲間を増やす』事にすべての活動・業務を集中していきます。

強化月間とは生協の事業、活動を強くしていこうという月間です。常総生協の協同組合としての取り組みの強化を、この3ヶ月で集中して行います。組合員の皆様のご協力、宜しくお願い致します。

【常総生協の基本的な生協運営の考え】



【協同組合の原則】

1. 自発的で開かれた組合員制
2. 組合員による民主的運営
3. 組合員の経済的参加
4. 自治と自立
5. 教育、訓練および広報
6. 協同組合間協同
7. コミュニティへの関与

【2017年9月の予定】

●生協基幹運営／地域活動・催し●	●提携・協同・連帯企画●
<p>【定期開催の催事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎週木曜日につくば桜運動公園ゴントの丘にて地域コミュニティ活動中。 ・ 毎月第3火曜日にゆるカフェ開催。 ・ 毎月第一土曜日にじょうそう朝市を開催しています。 <p>9/2（土）歴史を学ぼう講座（都留先生） 9/4（月）脱原発とくらし見直し委員会（常総生協） 9/5（火）私たちのくらしと憲法講座（山本先生） 9/27（水）定例理事会 9/29-30（金、土）岩手県産地ツアー 9/30（土）生協実験田稲刈り</p>	<p>9/1（金）日本有機農業研究会夏のシンポジウム 9/6（水）プラント部会 9/9（土）甲状腺検診（横浜） 9/10（日）甲状腺検診（相模原） 9/14（木）茨城訴訟団会議 9/17（日）魚住有機農学校 9/20（水）業者会役員会</p>

組合員が主体となる生協を目指しましょう!!

組合員の参画を中心とした業務・活動・運営を基本としていく事!!

生協は協同組合です。組合員の出資、運営、仲間づくり、利用が原則です。

職員だけの見え方と、組合員からの見え方を踏まえて、事業転換していく事が、経営改善につながります。

常総生協は「食はいのち」の理念の基、「手作り」を推進してきました。その為には「素材」が大切です。良い「素材」を使って、「家庭の味」「滋味」を大切にし、「手作り」をすることで健康で経済的なくらしを提案している生協です。

秋の商品事業強化方針

テーマ

生協事業の基盤（健康で経済的なくらし）を指針に「ひと手間」手作り推進を柱にしていきます。

- 1) 素材の使い切り提案をします。
 - a) 野菜セット使い切り提案
 - b) 単品商品の使い切り提案
- 2) アレンジ「ひと手間」でイリュージョン料理提案
 - a) 例) ポトフ→トマトシチュー→カレーと変身料理
 - b) 組合員さんのアイデア料理「ひと手間、簡単変身料理」
- 3) 時間が無くても、加工品を使って「ひと手間」かけて仕上げよう運動
 - a) 冷凍食品でも「ひと手間」付け合せをつけてあげることで、そのまま食べるよりずっと味わい深くなる。家庭の味にしていく事を提案していきます。

組合員と商品づくり、産地開拓を一緒に行います。

1. 鈴木牧場との牛乳プロジェクト理事会—組合員—職員で推進していきます。
2. 援農活動からの縁農につなげる活動をしていきます。
3. 新規開拓を組合員と共に開拓していきます。
4. 簡単、便利、経済的な「ひと手間料理」のアイデアや、創作を組合員と共に学びあい、組合員がつくった**「ひと手間レシピセット」**を作っていきます。常総生協ならではの、知恵の交流会をしていきます。

祝!! 来場者 100
名オーバー

8/5 (土) 第 12 回じょうそう夕市開催報告

8/5(土)に第12回じょうそう夕市を常総生協本部で行いました。前回(7月)は大雨の為中止となりましたが、今回は天候に恵まれました。

生協本部での朝市開催~約1年間行ってきましたが、夏の時期という事もあり、ちょっとしたミニ夏祭りのイメージで今回企画し、夕方に行う夕市へ時間をずらして行いました。

朝市の時に比べ、来場者が倍の人数の**100名以上**の方がいらっやって下さいました。嬉しい限りです。当日の様子をまとめましたので、是非ご覧ください。

<まずは入口で地場野菜詰め放題 1回 100円>

常総生協の地場生産者の夏野菜をそろえました!一番人気は「オクラ」★この時期は茹でたオクラをたたいて「ネバネバ丼」がおすすめです♪と職員が話すと、子どもたちもどンドンオクラを…。

芸術的な入れ方をする子どももいたので、すぐになくなってしまいました…→



<松永農園さんのフラッペを使った「かき氷」1杯 100円>



静岡県由比で無農薬の果樹作りに挑戦する「松永農園」さんの絶品フラッペジャム。

「じょうそうきっちゃん car」からかき氷を提供しました。

いちご、みかん、ブルーベリー…どれも果肉たっぷりでお子さんから大人まで大人気でした!

<小豆島オリーブそうめんの「流しそうめん」1回 100円>



いよいよメインイベントの流しそうめんです。

今回は常総生協でも人気のある小豆島産オリーブを練りこんだ「小豆島オリーブそうめん」です。

常総だし醤油で割っためんつゆでいただきます。

そうめんに混ぜて、たまに流れてきたのは「トマト」!? これには子供大はしゃぎでした!

<手持ち花火(お子さんのみ)>

だんだん日も暮れてきて、最後は手持ち花火をおこないました。

朝市実行委員長の横関が、子供たちに一人一人火をつけていきます。1本1本大事に花火をする姿は何とも微笑ましい光景でした。



<< 次回の開催について >>

・日時: 9/2(土)17:00~19:00

・場所: 常総生協本部1F広場

ここ守谷市の配送センターは2年前に建て替えたばかりですが、この地に開かれた協同組合として人が気軽に集まれるよう、楽しい企画を催していきたいと思えます。

次回もぜひ、みなさまのお越しをお待ちしています!

【お知らせ】「ぶーぶー日記」掲載の件

申し訳ありません。岩瀬牧場出向職員による『ぶーぶー日記』の掲載を予定していましたが、商品カタログにて9月3回に掲載することに変更になりました。ご理解の程、宜しくお願い致します。

茨城県在住の組合員の皆さまへ

8/26（日）は茨城県知事選投票日

「原発はいらない」

私たちの思いを投票で！

県知事は「原発」再稼働を左右します。

「原発はいらない」の意思を投票で示しましょう！ 生協からも投票をよびかけます。

わたしたちは、2011年の東京電力福島第一原発事故で、いのち育む食べ物が一瞬にして「いのちを傷つける放射能を発する食べ物」になることを思い知らされました。被ばくによって長期にわたって子どもたちの健康影響を心配することとなりました。

いったん原発事故が起きれば、この地にはほぼ帰れなくなる、避難で家族もバラバラになる、仕事も暮らしもこわれてしまう、地域はなくなってしまう、人と人の関係がズタズタになってしまう、補償などあてにならないことを知りました。

わたしたちの住む茨城には「東海第二原子力発電所」があります。来年40年を迎える老朽化した原発をさらに20年動かそうとしています。

わたしたちは協同組合として「被ばくや放射能汚染はもう二度と起こしてはならない」と、原発の再稼働を差し止める住民訴訟を起こしました。水戸地裁で裁判が続いています。

原発は住民の同意がなければ動かさせません。その中でも知事はたいへん大きい権限を持ちます。いのちを大切にする、地域でとれる食べものを大切にする、くらしと環境を大切にする人を、「わたしたちの知事」にしましょう。わたしたち女たちが地域を変えてゆくのです。



東海第二原発

首都にいちばん近いところで、日本で一番古い原発をさらに20年延長して動かそうとしている。

千葉の組合員さんから「新聞の千葉版の一面トップに東海第二原発再稼働に茨城県の住民と自治体が反対している記事が載りましたよ！」とお手紙頂きました。

いのちとくらしを守る努力をする生活協同組合として知事選挙の投票行動を呼びかけます。

